

令和8年度

感染管理認定看護師教育課程 (A課程)

学生募集要項

2次募集

❖ 日本看護協会認定感染管理認定看護師教育課程 ❖

令和8年度(2026年度)まで感染管理認定看護師教育課程(A課程)を開講します。
令和9年度(2027年度)より感染管理認定看護師教育課程(B課程)の開講にむけて
準備中です。

<目次>

実践教育センターでの学び	P 1
実践教育センターの授業形式	P 2
カリキュラム	P 3
選考要領	P 11
合格者の選考	P 13
出願の手引き	P 14
出願書類の作成方法	P 17
出願様式	P 20
入学の手引き	P 27
個人情報取扱方針	P 29
アクセスインフォメーション	P 30



公立大学法人

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

CENTER FOR PROFESSIONAL EDUCATION,
KANAGAWA UNIVERSITY OF HUMAN SERVICES

実践教育センターの学び

<概要>

神奈川県立保健福祉大学実践教育センターは、保健・医療・福祉分野の現任教育を目的とした教育機関です。平成15年4月、神奈川県立保健福祉大学の開学にあわせて設置されました。神奈川県立保健福祉大学では、「生涯にわたる継続教育の重視」を基本理念の一つとして掲げています。医療技術の高度化・専門化、保健・医療・福祉サービスの連携・総合化が求められる中、当センターが担う役割として、時代の変化に応じて、保健・医療・福祉を担う人材の資質の向上と充実が期待されています。

<教育方針>

実践教育センターは、総合的なヒューマンサービスを担う保健・医療・福祉分野の人材育成を目指し、次の視点で現任教育を実施しています。

- ◆ 職業倫理や人権意識を磨くなど、より深く人を理解するための高い教養を身につける。
- ◆ 保健・医療・福祉分野の多様化・複雑化するニーズに対応するための専門的な知識・技術の向上を図り、地域のリーダーとなる人材を育成する。
- ◆ 関連分野に関する幅広い知識や多職種との連携を実践できる能力の向上を図る。

<教育の特徴>

学び直しと実践の再構築による仕事に活かせる現任教育

これまでの経験を振り返ることにより、実践の意味付けをし、自分の専門性を深く洞察することで視野を広げることができます。

本学の教員をはじめ、当該分野で活躍する一流の講師陣から学ぶことができます。

専門職としてのネットワークの構築

多様な機関・立場の専門職とともに切磋琢磨しながら学ぶことができます。また、卒業後も、フォローアップ研修などを通して知見を共有し、同窓生のネットワークを広げることができます。

充実した教育環境

働きながら学びたい方、集中して学習したい方、それぞれに合わせた学習の進め方を支援しています。また、遠隔授業においても、安心して受講できるよう個別のサポートを準備しています。

その他、当センターの図書室や横須賀キャンパスの図書館が利用できます。一部の電子ジャーナル等は、自宅からでも閲覧が可能です。クラウドによる学習教材の活用や、教育支援システムにより、学びやすい環境を整えています。

※感染管理認定看護師の資格審査に向けて、模擬試験等による学習支援を卒業後に提供しています。



実践教育センターの授業形式

1 授業形式

実践教育センターの授業形式は、教育効果が最大となるように、授業の内容に合わせて、対面授業または遠隔授業（リアルタイム配信・オンデマンド配信）を実施します。感染拡大等により、予定していた対面授業を実施できない場合は、遠隔授業に切り替えて授業をする場合があります。その場合は、速やかにお知らせします。

2 遠隔授業にあたっての事前準備

遠隔授業は、オンライン会議システム（Zoom 等）を活用し、双方向での学習を含めて行うため、受講には、インターネット環境を整える必要があります。以下のものを受講前にご準備ください。

- ・インターネットに接続できるカメラ・マイク内蔵型のパソコン（カメラ、マイクが内蔵されていないパソコンは、Webカメラ、マイクを別に準備）
- ・イヤホン、ヘッドセットなど（必要に応じて）
- ・添付ファイルが送受信できるパソコンのメールアドレスの設定
- ・プリンター

3 事前通信テストについて

遠隔授業にあたっては、事前に通信テストを実施しています。詳細は、入学許可後にご連絡します。

4 その他

携帯電話の回線を使う場合は、データ使用量により利用料金（パケット通信料）が高額になることがあるのでご注意ください。

学生側の機器トラブル等により受講できなかった場合、補講等の対応はいたしませんので、ご了承ください。

感染管理認定看護師教育課程カリキュラム

認定看護師とは、「日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者」をいいます。

本課程は日本看護協会認定の特定行為研修を組み込んでいない認定看護師教育課程（A課程教育機関）であり、当センターで本課程を修了すると、日本看護協会の感染管理認定看護師認定審査の受験資格を得られます。

【感染管理認定看護師教育課程のカリキュラムの特徴】

日本看護協会認定看護師教育基準カリキュラム<感染管理分野A課程>に準拠したカリキュラムです。認定看護師としての実践スキルを高める演習として、サーベイランスのシミュレーション、模擬授業（指導）、相談のロールプレイを取り揃えています。また、当センター独自科目として、2つの選択科目を設けています。昨今のパンデミックや新興感染症の流行に対して備えるための学習として、「グローバル感染症と感染管理」を、認定看護管理者教育課程セカンドレベルの学生と一緒に看護管理について学ぶ機会として、「看護管理（選択）」を設け、医療施設での組織横断的な活動を支援する内容を充実させています。

1 本課程の目的

- (1) 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、専門的知識と高度な技術に基づいて医療関連感染の予防と管理を実践できる能力を育成する。
- (2) 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、医療関連感染の予防と管理について指導できる能力を育成する。
- (3) 医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの相談に対応し、問題解決に向けた支援ができる能力を育成する。

2 感染管理認定看護師に期待される能力

施設の中心となって多職種と協働しながら、医療関連感染の予防と管理を推進するために以下の能力を身につけることができる。

- (1) 施設の状況を評価し、医療関連感染予防・管理システムを組織的かつ戦略的に構築するための計画を立案できる。
- (2) 医療関連感染予防・管理システムの運用、評価、改善を実践できる。
- (3) 施設の状況にあわせた医療関連感染サーベイランスを実践できる。
- (4) 医療関連感染の予防と管理に関する科学的根拠を評価し、医療を提供する場で実施されているケアの改善に活用できる。
- (5) 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、医療関連感染の予防と管理について指導できる。
- (6) 医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの相談に対応し、問題解決に向けた支援ができる。
- (7) 医療を提供する場で働くあらゆる人々からの相談に対応し、職業感染防止を推進できる。
- (8) 医療関連感染の予防と管理の視点からファシリティ・マネジメント(施設管理)を推進できる。
- (9) 関連組織と協働して、パンデミックや災害等の緊急事態を想定した準備と対応ができる。

- (10) 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、倫理的配慮を行いながら医療関連感染の予防と管理が実践できる。
- (11) 上記（１）～（10）を通して、感染管理分野の役割モデルを示す。

3 修了条件

以下を満たした場合に修了を認める。

- (1) 感染管理分野の認定看護師教育基準カリキュラム（A課程教育機関）で定める全教科目（共通科目、専門基礎科目、専門科目、学内演習、臨地実習）において、各教科目の履修すべき時間数の5分の4以上を出席し、かつ各教科目の試験に合格すること。
- (2) 修了試験に合格すること。

4 年間スケジュール

4月	入学式・オリエンテーション、講義（1週間程度）
5月～12月	集中講義期間（10～11月臨地実習、1月修了試験）
2月	認定審査試験対策講座
3月	卒業式

5 教育内容 (多少変更することがあります。)

日本看護協会認定看護師教育基準カリキュラムに準じ、みなし時間(45分を1時間とする)を適用しています。

分野	教科目 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
共通科目	医療安全学： 医療倫理 (必修)	15	医療倫理の理論 医療倫理の事例検討	実践の場において、対象の人権擁護・知る権利・自律性(自己決定)を尊重した看護を提供するため、医療倫理についての理解を深め、実践活動にどのように反映できるかを考察する。
	医療安全学： 医療安全管理 (必修)	15	医療管理の理論 医療管理の事例検討 医療安全の法的側面 医療安全の事例検討・実習★	医療現場における安全管理をめぐる取り組みの経緯、医療事故発生メカニズムについて理解する。また、実践の場において、看護職者及び他職種との連携を図り、医療事故を防止するための情報収集・分析・対策立案・評価・フィードバックを実践する能力を習得する。
	医療安全学： 看護管理 (必修)	15	ケアの質保証の理論 ケアの質保証事例検討	わが国の保健医療制度の仕組みと動向を理解し、社会や地域住民のニーズに対応する医療サービスや看護のあり方を考察する。また、実践の場において質の高い看護サービスを効果的・効率的に提供するための戦略や自身の役割機能の展開などについて検討する。
	チーム医療論 (特定行為実践) (必修)	15	チーム医療の理論と演習・実習★ チーム医療の事例検討 多職種協働の課題 ※特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割を含む	質の高い医療・看護の効果的・効率的な提供に向けたチーム医療の推進について考察する。また、多職種協働の課題及び集団や組織の目標・課題を達成する上で必要なリーダーシップについて理解する。
	相談 (特定行為実践) (必修)	15	コンサルテーションの方法	対象及び組織内外の看護職者や他職種などに対してコンサルテーションを行う際の知識や方法論について習得する。さらに、自らの役割と能力を超える看護が求められる場合には、自ら支援や指導を受けることの重要性について理解する。
	臨床薬理学： 薬理作用 (必修)	15	主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 ※年齢による特性(小児/高齢者)を含む	安全確実な薬剤投与を行うため、薬物動態を踏まえた薬物の作用機序と、主要薬物の薬理作用・副作用について理解する。
	指導 (必修)	15	生涯教育と生涯学習 成人学習者への教育について 教材観(主題観)、対象者観、指導観 学習指導案の作成・発表	組織内外の看護職者に対して、実践を通して知識・技術を共有し、相手の能力を高めるための指導能力を習得する。
	設定時間数	小計	105	(必修 105)

★「医療安全学：医療安全管理」と「チーム医療論(特定行為実践)」の実習は、医療安全及びチーム医療の実習について、いずれか一方または両方を行うものとする。

分野	教科目 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
選択科目	看護管理 (選択)	6	看護管理者との連携・協働 (認定看護管理者教育課程 セカンドレベルとの共講)	看護管理者と認定看護師を目指す者の共講により、互いの立場や役割を理解し、リソースナースの活用がもたらす効果、組織への還元について考え、それぞれの卒業後の活動に活かせるようにする。
	グローバル 感染症と 感染管理(選択)	12	グローバル感染症と感染管理	世界で流行する感染症について最新の知見を得て、地域や臨床での感染症の看護や管理に生かすための考察ができる。
	設定時間数	小計 18 (選択 18) ※当センター独自科目として設定		

分野	教科目 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専門基礎科目	感染管理学 (必修)	15	1) 医療関連感染予防・管理概論 (1) 医療関連感染予防・管理の歴史と変遷 2) 感染管理認定看護師の役割 (1) 感染管理認定看護師の役割と機能 (多職種との連携を含む) (2) 感染管理認定看護師の活動の実際 3) 自施設及び地域における感染リスクのアセスメント	1) 医療関連感染の予防と管理の歴史と変遷について理解できる。 2) 感染管理認定看護師の活動の実際について理解できる。 (1) 感染管理認定看護師の役割と機能(多職種との連携を含む)について理解できる。 (2) 感染管理認定看護師の役割と機能を発揮するための姿勢や手法について理解できる。 (3) 自施設及び地域における感染リスクのアセスメントが理解できる。
	疫学と統計学 (必修)	30	1) 医療関連感染予防・管理の基礎となる疫学 (1) 疫学用語の定義 (2) 疫学的指標 ・罹患、有病、死亡に関する指標 ・リスク推定の指標(相対リスク、オッズ比等) ・妥当性に関する指標(感度・特異度・的中率等) (3) 疫学研究デザインの種類と特徴 2) 医療関連感染予防・管理の基礎となる統計学 (1) 変数の種類と特徴 (2) 記述統計 ・度数分布表とヒストグラム ・中心傾向：平均値、中央値、最頻値 ・分布：範囲、パーセンタイル、標準偏差、正規分布とゆがんだ分布 (3) 推測統計 ・点推定、区間推定 ・仮説検定の手法(感染予防と管理に頻用するパラメトリック検定とノンパラメトリック検定：T検定、 χ^2 検定等) 3) アウトブレイクの調査・介入 (1) アウトブレイク調査・介入に関する基本的な考え方と手順	1) 医療関連感染の予防と管理に必要な疫学の基礎知識を理解できる。 2) 医療関連感染の予防と管理に必要な統計学の基礎知識を理解できる。 3) アウトブレイク対応の具体的な手法を理解できる。

分野	教科目 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専門 基礎 科目	微生物学 (必修)	15	1) 微生物学 (1) 病原微生物の分類と特徴 (2) 医療関連感染で問題となる微生物 (3) 薬剤耐性獲得のメカニズム (4) 薬剤耐性菌の種類と特徴 2) 感染症の検査 (1) 鏡検、免疫・血清学的検査(迅速検査、ペア血清、インターフェロング遊離試験等)、遺伝子検査、培養、感受性試験等の目的、原理、結果の解釈、活用 (2) 適切な検体の採取方法と取扱い (3) 検査の感度と特異度	1) 病原微生物の分類と特徴が理解できる。 2) 医療関連感染で問題となる微生物・感染症について理解できる。 3) 薬剤耐性獲得のメカニズムが理解できる。 4) 薬剤耐性菌の種類と特徴について理解できる。 5) 感染症の検査の概要及び検体の取り扱い等について理解できる。
	感染症学概論 (必修)	15	(1) 免疫機構と感染の成立(新生児・高齢者の免疫機能の特徴を含む) (2) 易感染状態の理解(移植・熱傷・がん化学療法・放射線療法・ヒト免疫不全ウイルス感染症等) (3) 抗微生物薬の種類と薬理作用	1) 免疫機構と感染の成立について理解できる。 2) 易感染状態について理解できる。 3) 抗微生物薬の種類と薬理作用について理解できる。
	感染症学各論 (必修)	30	(1) 主な感染症の診断・治療・予防 ・血流感染、尿路感染(いずれも医療器具関連感染を含む) ・手術部位感染 ・肺炎 ・感染性胃腸炎(<i>Clostridioides difficile</i> 感染症を含む) ・結核 ・流行性ウイルス性感染症 ・ウイルス性肝炎 ・ヒト免疫不全ウイルス感染症 ・髄膜炎 ・疥癬 ・クロイツフェルト・ヤコブ病 ・母子感染による感染症 (2) 薬剤耐性菌感染症の診断・治療 (3) 新興・再興感染症、輸入感染症の理解 (4) ワクチンで予防可能な感染症	1) 主な感染症の診断・治療・予防について理解できる。 2) 薬剤耐性菌感染症の診断・治療について理解できる。 3) 新興・再興感染症、輸入感染症について理解できる。 4) ワクチンで予防可能な感染症について理解できる。
	医療管理学 (必修)	15	1) 医療提供システム (1) 政策と診療報酬 (2) 関係法規(医療法、感染症法、学校保健安全法、予防接種法等) 2) 医療における質と効率 (1) 第三者評価 (2) 費用対効果 3) 医療関連感染の予防と管理における危機管理 (1) リスクコミュニケーション (2) 感染と訴訟 ※リスクコミュニケーション 感染症やアウトブレイクのリスク、現状、対策などに関する情報や意見を分かりやすい方法で個人、集団、組織間で交換し、相互理解を深めるプロセス	1) 医療関連感染の予防と管理に関する政策や診療報酬制度について理解できる。 2) 医療法、感染症法、学校保健安全法、予防接種法等の関連法規・制度の種類とその内容について理解できる。 3) 医療における質の改善と評価について理解できる。 4) 医療関連感染の予防と管理における危機管理について理解できる。
	設定時間数	小計	120	(必修 120)

分野	教科目 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専 門 科 目	医療関連感染 サーベイランス 概論 (必修)	15	1) サーベイランス概論 (1)サーベイランスの定義・目的 (2)サーベイランスの種類 (3)サーベイランス実施に向けた施設のアセスメント (4)サーベイランス・プログラムの要素 計画立案 (5)実施方法 (分母・分子の考え方、リスク調整等) (6)医療関連感染サーベイランスデータの分析及び活用方法	1) 医療関連感染サーベイランスの概念について理解できる。
	医療関連感染 サーベイランス 各論 (必修)	30	1) 医療関連感染サーベイランス各論 (1) 医療器具関連感染サーベイランス (カテーテル関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎、カテーテル関連尿路感染) (2) 手術部位感染サーベイランス (3) プロセスサーベイランス (4) 微生物サーベイランス (薬剤耐性菌などの主要な微生物) (5) 感染症サーベイランス (<i>Clostridioides difficile</i> 感染症や結核などの感染症) (6) 症候群サーベイランス	1) 医療関連感染サーベイランス・プログラムの立案と実施について理解し、実践できる。 2) サーベイランスデータの分析及び活用方法について理解し、実践できる。 3) 代表的な医療関連感染サーベイランスの種類と具体的手法について理解し、実践できる。
	感染防止技術 (必修)	30	1) 感染予防策とアドヒアランス向上のための取り組み (1) 標準予防策 (2) 感染経路別予防策 (3) 医療器具関連感染予防策 (血流感染、尿路感染、人工呼吸器関連肺炎) (4) 手術部位感染予防策 2) 部門別感染予防 (1) 集中治療部門 (成人) (2) 新生児・小児集中治療部門 (3) 手術部門 (4) 救急部門 (熱傷管理を含む) (5) 外来部門 (日帰り手術・化学療法等) (6) 移植部門 (7) 周産期部門 (8) 小児部門 (9) 内視鏡部門 (10) 透析部門 (11) 高齢者施設/在宅 3) パンデミックや災害等の緊急事態を想定した準備と対応 (1) パンデミック、災害における感染管理認定看護師の役割 (2) パンデミック、災害への備え (3) パンデミック、災害発生時の対応	1) ガイドライン等で推奨されている感染予防策の内容及び科学的根拠について理解し、説明することができる。 2) 科学的根拠に基づいて実施が推奨される感染予防策のアドヒアランスを向上するための取り組みについて理解し、実践できる。 3) 特有の感染リスクを有する部門において、ガイドライン等で推奨されている感染予防策の内容及び科学的根拠について理解し、説明することができる。

分野	教科目 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専 門 科 目	職業感染管理 (必修)	15	1) 労働安全衛生 2) 職業感染予防・管理 (1) 血液媒介病原体による針刺し・切創・汚染予防と曝露後対応 (ヒト免疫不全ウイルス、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスなど) (2) 流行性ウイルス感染症の予防と曝露後対応 (麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎、インフルエンザ) (3) 結核の曝露後対応 (4) その他 (流行性角結膜炎、疥癬、感染性胃腸炎など)	1) 職業感染管理の目的が理解できる。 2) 労働安全衛生教育の必要性が理解できる。 3) 職業感染の原因となる微生物の特徴が理解できる。 4) 職業感染の予防策と発生時の対応を理解し、実践できる。 5) 感染性微生物曝露者、接触者への対応や感染源の調査方法を理解し、実践できる。
	感染管理指導と相談 (必修)	15	1) 医療関連感染の予防と管理に関する施設内外での指導 (1) 指導計画の立案と評価 (2) 指導の実際 2) 医療関連感染の予防と管理に関する施設内外での相談 (1) 相談システムの構築 (2) 相談の実際 ・医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対する指導、相談を含む ・地域連携に関わる指導、相談を含む	1) 施設における医療関連感染の予防と管理に関する指導プログラムの立案・実施・評価について理解し、実践できる。 2) 職員が医療関連感染の予防と管理に関して行動を変容できるための具体的な方策について理解し、実践できる。 3) 医療関連感染の予防と管理に関する相談システムの構築方法について理解し、実践できる。 4) 医療関連感染の予防と管理に関する相談の実際について理解し、実践できる。
	洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・マネジメント (必修)	15	1) 洗浄・消毒・滅菌の原則と実際 (1) 洗浄・消毒の原則と実際 (2) 滅菌の原則と実際及び滅菌物の取り扱い 2) ファシリティ・マネジメント (施設管理) の原則と実際 (1) 廃棄物、給食、空調、水、清掃、リネン管理 (2) 建築・改築時のリスクアセスメントと対策	1) 洗浄・消毒・滅菌の原則について理解し、説明することができる。 2) 洗浄・消毒・滅菌が適切に行われるために、感染管理認定看護師が行う活動内容について理解し、実践できる。 3) ファシリティ・マネジメント (施設管理) の原則と実際について理解し、実践できる。
設定時間数 小計		120	(必修 120)	

分野	教科目 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
学 内 演 習	学内演習 (必修)	112	1) 医療関連感染予防・管理プログラムの立案(講義での学びを基に各施設における感染管理・予防上の課題を把握・考察し、各施設に応じたプログラムを以下の7項目にそって立案) ・医療関連感染予防・管理システム ・医療関連感染サーベイランス ・感染防止技術 ・職業感染管理 ・感染管理指導 ・感染管理相談 ・洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・マネジメント 2) エビデンスに基づいた医療関連感染の予防と管理に必要な情報収集と分析 ・日本語及び英語文献の検索方法と読み方 ・感染予防策の有効性に関する科学的根拠の検索方法とエビデンスレベルに関する判断 ・医療関連感染の予防と管理に関する科学的根拠の評価 3) 主体的な改善活動を行うために必要なコミュニケーションスキル(プレゼンテーション、文書作成など) 4) 微生物検査(15時間以上) 細菌グラム染色、細菌分離培養及び同定検査、薬剤感受性試験	1) 自施設における医療関連感染予防・管理システムについてアセスメントを行い、具体的課題と対策を明文化することができる。 2) 1)で明らかになった課題及び対策を反映したプログラムを立案することができる。 3) エビデンスに基づいた医療関連感染予防・管理に必要な情報収集と分析ができる。 4) 組織横断的かつ主体的な改善活動を行うためにプレゼンテーション、文書作成などの必要なコミュニケーションスキルを習得できる。 5) 基本的な微生物学的検査の意義・実施方法・解釈の方法について理解し、実践できる。
	臨地実習 (必修)	180	所属施設での感染管理活動に活用できるよう、実習施設における医療関連感染予防・管理プログラムと感染管理担当看護師の役割を理解し、下記の7項目すべてについてそれぞれ一部を実践する。 1) 医療関連感染予防・管理システム 2) 医療関連感染サーベイランス 3) 感染防止技術 4) 職業感染管理 5) 感染管理指導 6) 感染管理相談 ・地域連携に関わる指導、相談を含む 7) 洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・マネジメント	1) 所属施設での感染管理活動に活用できるよう、実習施設における医療関連感染予防・管理プログラムと感染管理担当看護師の役割を理解し、一部実践できる。
設定時間数 小計 292 (必修 292)				
設定時間数 合計 (必修 637 / 選択 18)				

感染管理認定看護師教育課程選考要領

募集人員	10名程度
開講期間等	令和8年4月～翌年3月、月～金曜日、一部土曜日 年間スケジュールは、P4参照
出願資格	<p>次の(1)～(3)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1) 日本国の看護師免許を有する者</p> <p>(2) 看護師免許を取得後、実務経験が5年以上ある者(実務経験年数は、令和8年3月末現在(予定)とする。中途退職等の事情で入学時に実務経験年数が出願資格の要件に満たなくなった場合は、入学資格の喪失とみなす)常勤でない場合は、150時間の勤務時間を1か月として換算する。</p> <p>(3) 以下に掲げる実務経験を有する者</p> <p>① 通算3年以上、感染管理に関わる活動実績(感染対策委員会、ICT、リンクナース会等)を有すること。</p> <p>② 感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること。</p> <p>③ 医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。</p> <p>④ 現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。</p>
出願書類	<p>(1) 出願書類リスト</p> <p>(2) 入学願書(様式1)</p> <p>(3) 受験票(様式2)・写真票(様式3)</p> <p>(4) 看護師免許のコピー(A4サイズ) ※看護師免許証が現姓と異なる場合は、個人事項証明書(戸籍抄本)等、改姓されたことを証明できる書類を添付してください(書類は受験票返送の際に返却します)。</p> <p>(5) 勤務証明書(様式4)</p> <p>(6) 実務研修報告書(様式5)</p> <p>(7) 小論文(様式B) 【課題】「地域から期待される自施設のあり方」 上記の課題について、600～800字で記述してください。</p> <p>(8) 指定口座に入金したことがわかる書類 (P14「出願の手引き」の「1 入学検定料の納付」の項目を参照)</p> <p>(9) 受験票返信用封筒(長形3号、返信先を明記し、110円切手を貼付)</p> <p>[注意事項]</p> <p>※ 出願書類の作成方法について、詳しくは「出願書類の作成方法」P17～19をご覧ください。</p> <p>※ 出願書類に不備がある場合は受理できないことがあります。ご注意ください。</p> <p>※ 受理した出願書類は返還しません。</p> <p>※ 出願書類の作成において、生成AIの使用を禁止します。使用した場合には、不正行為として認定されます。</p>
出願期間	令和8年1月22日(木)～2月12日(木)(締切日必着)
入学検定料	8,800円(税込)

選考方法	学科試験、小論文、面接		
試験日程等	試験日	試験区分	時間
	令和8年2月18日(水)	学科	午前
		面接	午後
	<p>【試験会場】神奈川県立保健福祉大学実践教育センター（横浜市旭区中尾1-5-1）</p>		
<p>【持参するもの】受験票、筆記用具、昼食</p>			
<p>※悪天候等によりやむを得ず入学試験日を変更する場合の予備日は、</p>			
<p>2月20日(金)を予定しています。予備日に変更となる場合は、当センターホームページでお知らせします。</p>			
<p>※感染対策について</p>			
<p>当日は咳エチケット（咳やくしゃみの時はマスク着用やティッシュ等で鼻と口を覆うなど）をお願いします。また、入学試験当日に発熱等の感染症が疑われる症状のある方は、試験会場に入場できません。<u>追試験は行いません</u>ので予めご了承ください。</p>			
合格発表	令和8年2月27日(金)午前9時		

合格者の選考

<選考基準>

学科試験・小論文（出願書類）及び面接は、以下の基準に沿って評価します。

1 学科試験

感染管理に求められる水準の基礎知識と問題解決能力を問う。

2 小論文（出願書類）

課題の趣旨を適確にとらえ、多角的に分析し、自分の意見を論理的に表現できる。

3 面接

学習意欲や継続性・社会性（積極性・堅実性・協調性）、表現力及び態度などが適切である。

<配点>

区分	学科試験	小論文	面接
配点	100点	30点	20点

<合格者の決定>

学科試験・小論文及び面接の結果を総合的に判断して決定します。

ただし、合格判定基準を満たす県内在住者または在勤者を優先します。

なお、県内在住及び在勤の判断は、（様式1）感染管理認定看護師教育課程入学願書に記載された住所及び勤務施設所在地により行います。

*****出願の手引き*****

1 入学検定料の納付

- 入学検定料（8,800円）を**出願締め切り日までに**、次の銀行口座へ納付してください。

〔感染管理認定看護師教育課程 入学検定料振込先〕

銀行：三井住友銀行 アオイ支店

店番：969

預金種目：普通

口座番号：1448407

口座名義人：公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学

（振込先は、出願課程（コース）ごとに異なりますのでご注意ください。）

- 振込み手数料は出願者をご負担ください。
- 振込み方法は、次のいずれかの方法により納付してください。
- (1) ATM（現金自動預払機）
振込の際は、振込元に「出願者本人の氏名」を必ず入力してください。
 - (2) インターネットバンキング
振込の際は、振込元に「出願者本人の氏名」を必ず入力してください。
 - (3) 金融機関の窓口
 - ・ 所定の振込依頼書（※）への記入が必要となります。
 - ・ 出願締め切りまでに金融機関の窓口で納付してください（ゆうちょ銀行、郵便局からの振込はできません。）。
- （※） 入学検定料振込依頼書は、次の①、②いずれかの方法で入手してください。なお、振込依頼書は課程ごとの専用の様式になっていますので、必ず出願課程用の振込依頼書を使用してください。
- ① 実践教育センターの下記ホームページからダウンロードし印刷する。
<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/admission/certifiednurse/>（感染管理認定看護師）
印刷の際は、必ずA4サイズの白色無地の用紙を使用し、拡大、縮小せずに出力してください。また、印刷が不鮮明であったり、文字化けしていると金融機関で受付することができない場合がありますので、出力後に必ず確認してください。
 - ② 郵送により請求する。
「感染管理認定看護師教育課程 入学検定料振込依頼書希望」と明記し、長形3号の返信用封筒（110円切手を貼り、返信先を明記）を同封し、次の請求先へ送付してください。

〔請求先〕 〒241-0815 横浜市旭区中尾1-5-1

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 企画教務部

- 入学検定料を納付後、指定口座に入金したことがわかる書類を、出願書類と併せて提出してください。

<指定口座に入金したことがわかる書類の例>

- (1) ATM（現金自動預払機）
利用明細書
- (2) インターネットバンキング

振込完了画面を印刷したもの

(3) 金融機関の窓口

金融機関の窓口で収納印が押印された「振込証明書」(振込金領収書は提出不要。)

- 納入された入学検定料は返還しません。
ただし、次の場合は本人の申出により返還しますので、お申出ください。
 - ・ 入学検定料納付後、出願書類を提出しなかった場合または出願書類が受理されなかった場合。
 - ・ 入学検定料を誤って二重に納付した場合。

2 出願書類の提出方法

- 出願書類を折らずに入れられる封筒(角形2号)に、出願課程名、出願者住所・氏名を明記し、令和8年1月22日(木)～2月12日(木)までに次の出願先に必ず簡易書留で郵送してください。(締切日必着)

【出願先】 〒241-0815 横浜市旭区中尾1-5-1
神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 実践教育部
感染管理認定看護師教育課程 入学願書在中(朱書き)
出願者住所・氏名

- 出願書類の作成方法について、詳しくは「出願書類の作成方法」P17～19をご覧ください。
- 出願書類に不備がある場合は受理できないことがありますので、ご注意ください。
- 受理した出願書類は返還しません。

3 受験票(様式2)の送付

- 受験票(様式2)は、出願期間締め切り後、出願者全員の書類を確認してから、出願の際にご提出いただく「受験票返信用封筒」(長形3号)に入れて返送します。
- 「受験票返信用封筒」提出の際は、返信先を明記し、110円切手を貼付してください。
- 受験票(様式2)には受験番号を記載してお送りしますので、大切に保管してください。

4 合格発表

- 令和8年2月27日(金)午前9時、実践教育センターホームページ(<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/>)に、合格者の受験番号を発表します。受験番号をホームページに掲載することへの同意の有無を入学願書(様式1)に必ず記載してください。
- 合否は願書に記載の現住所に郵送で通知します。合格者には入学手続きに必要な書類を同封します。
- 電話による合否の問い合わせには応じられません。

5 選考結果の開示

選考結果を知りたい方は、口頭で開示請求ができます。

【開示する項目】 成績順位について開示します。

【開示請求者】 本人のみとします。請求にあたっては、受験票または本人であることを証明できるもの(顔写真付き身分証明書)を提示してください。

【開示する期間】 令和8年2月27日（金）～3月24日（火）

【開示する場所】 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 2階 教職員室

6 その他

- 働きながら学習を希望する方や、障害等により修学・通学上、特別な配慮を必要とする場合は、事前にご相談ください。
- 複数課程に出願することは可能ですが、入学は1つの課程のみです。

*****出願書類の作成方法*****

○ すべての様式について

- ・ 受験番号 _____ の欄は、記入しないでください。
- ・ 氏名欄は、必ず戸籍のとおりに楷書ではっきりと記入してください。
- ・ 手書きの場合は、消すことができない黒ボールペンを使用してください。

(1) 出願書類リスト

出願書類を郵送する際に、このリストを必ず同封してください。

- ・ リストには氏名及び日中の連絡先（電話番号）を記入の上、同封する出願書類を確認後、<提出書類・出願資格 確認欄>に記載されている「同封確認」欄に✓をしてください。
- ・ また、出願資格についても確認の上、該当する項目の「資格確認」欄に✓をしてください。

(2) 入学願書（様式1）

① 写真

- ・ 写真は上半身脱帽正面向き、縦4cm×横3cm（背景なし）で最近3か月以内に撮影したものとします。（スナップ写真は不可）
- ・ 写真の裏に氏名を記入して、のり付けしてください。

② 日中の連絡先

- ・ 携帯電話、勤務先等、日中連絡がとれる電話番号を記入してください。

③ メールアドレス

- ・ パソコンからのメールが受信できるアドレスを記入してください。

④ 出願時の所属先・勤務先

- ・ 出願時に勤務先のある方は、法人名等を含む名称・所在地を記入してください。
- ・ 勤務先において役職についている方はその職位を具体的に記入し、スタッフの場合は「なし」と記入してください。

【職位の例】看護師長、主任看護師 等

⑤ ホームページへの掲載

- ・ 合格発表の際、受験番号を実践教育センターホームページへ掲載することについての同意の有無を、□欄に✓をしてください。

⑥ 受講動機・学びたいこと

- ・ 受講動機・学びたい内容について、具体的に記入してください。

(3) 受験票（様式2）・写真票（様式3）

- ・ 写真は、入学願書（様式1）と同じ写真を2枚用意し、それぞれ裏に氏名を記入し、のり付けしてください。

(4) 看護師免許証のコピー (A4サイズ)

- ・ 免許証はA4に縮小してコピーしてください。免許証の裏面に登録年月日の記載がある場合は、裏面もコピーしてください。
- ・ 再交付手続き中の場合は、保健所長が発行する証明書を添付してください。
- ・ 看護師免許証が現姓と異なる場合は、個人事項証明書(戸籍抄本)等、改姓されたことを証明できる書類を添付してください(書類は受験票返送の際に返却します)。

(5) 勤務証明書(様式4)

- ・ 勤務期間の終期まで記載し、施設長印(私印不可)を押印してください。
- ・ 「在職期間」は、「看護師免許を取得(看護師免許登録日)後、5年以上の実務経験を有する」ことを証明できるように記入してください。
- ・ 複数の施設から証明が必要な場合は、様式をコピーしてご利用ください。

(6) 実務研修報告書(様式5)

① 「1 全実務研修期間および実務研修施設名(職歴)」

- ・ 出願資格の要件(1)(2)に該当する部分で、職歴になります。看護師免許取得からの職歴を古い順に2026(令和8)年3月末現在(予定)まで記入してください。
- ・ 職位がスタッフの場合は「なし」と記載してください。

② 「2 認定看護分野歴」

- ・ 出願資格の要件(3)に該当する部分で、感染に関連した役割を担当した期間になります。
- ・ 「期間」欄は、2026(令和8)年3月末現在(予定)まで記入し、勤務形態が「常勤」「非常勤」のどちらか○をつけてください。非常勤で勤務していた期間は、おおよそ週何時間程度勤務していたかを記入してください。育児休業、休職、長期研修などの期間は、実務経験年数には含みません。
- ・ 「感染に関連した役割」については、感染に関連した役割の名称を記入してください。

【記入例】

期 間	所属施設名	所属部署名	感染に関連した役割
(西暦) 2019年 2月~2026年 3月	〇〇法人	消化器外科	感染対策チーム
常勤 7年 2か月	〇〇会	病棟	リンクナース会
非常勤(週 時間程度) 年 か月	〇〇病院	ICU	サーベイランス担当

③ 「3 認定看護分野歴における実務研修施設の概要」

- ・ 感染管理分野の職務についていた施設の実績について記入してください。1施設での実務経験が3年未満の場合は、3年以上となるよう複数の施設の実績を記入してください。(様式はコピーして、施設ごとに記入してください)

④ 「4 実務研修の実績概要」

自分が中心となったケアの改善実績について具体的に記入してください。

(7) 小論文 (様式 B)

【課題】「地域から期待される自施設のあり方」

- ・ 600～800 字で記述してください。
- ・ 小論文の作成は、実践教育センターホームページに掲載している「用紙」(様式 B) を使用してください。
- ・ A 4 判縦長用紙に横書き、1 枚 20 字×20 行、2 枚以内で作成してください。
- ・ 用紙の上部欄外用紙の上部欄外 (ヘッダー) に氏名、および出願課程欄に課程名 (感染管理認定看護師教育課程) を記入してから論述してください。
- ・ (様式 B) には課題を記載せず、内容から書き始めてください。
- ・ 出願時に、他の出願書類と共に提出してください。

(8) 指定口座に入金したことがわかる書類 (必ず同封してください)

(P14「出願の手引き」の「1 入学検定料の納付」の項目を参照してください。)

(9) 受験票返信用封筒

- ・ 受験票の入る封筒 (長形 3 号) を各自用意してください。
- ・ 封筒の表に返信先を明記し、110 円切手を貼付してください。

(10) その他

出願書類の作成において、生成 AI の使用を禁止します。使用した場合には、不正行為として認定されます。

令和8年度 感染管理認定看護師教育課程 出願書類リスト
(太枠内を記入し、出願書類と共に提出してください。)

氏名		センター使用欄 (記入不要)
日中の連絡先 (電話番号)	()	

<提出書類・出願資格 確認欄>

	提出書類	同封確認 (同封した書類に✓)	センター使用欄 (記入不要)
1	入学願書 (様式1)		
2	受験票 (様式2)・写真票 (様式3)		
3	看護師免許のコピー		
4	勤務証明書 (様式4)		
5	実務研修報告書 (様式5)		
6	小論文 (様式B)		
7	指定口座に入金したことがわかる書類		
8	受験票返信用封筒 (110円切手貼付)		
	出願資格	資格確認 (確認した資格に✓)	
1	日本国の看護師免許を有する者		
2	看護師免許を取得後、実務経験が5年以上ある者 (実務経験年数は、令和8年3月末現在とする。)		
3	以下に掲げる実務経験を有する者 ① 通算3年以上、感染管理に関わる活動実績 (感染対策委員会、ICT、リンクナース会等) を有すること。 ② 感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること。 ③ 医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。 ④ 現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。		

令和8年度 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター (様式2)
感染管理認定看護師教育課程 入学試験受験票

受験番号	
------	--

※ 受験番号欄は記入しないでください。

ふりがな	
氏名	

写真貼付欄
・上半身脱帽正面向き 縦4cm×横3cm (背景なし)
・最近3か月以内に撮影
・写真の裏に氏名を記入してのり付け
年 月撮影

【試験日】 令和8年2月18日(水)

【集合時間】 令和8年2月18日(水) 10時15分

【試験会場】 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
(横浜市旭区中尾1-5-1)
TEL 045-366-5800

※最寄り駅は、相鉄線・二俣川駅です。

※敷地内に一般の駐車場はありません。
障害のある方等で、車での来場が必要な方は出願時に申し出てください。

※受験生以外の方の来場はできません。
障害等のある方等で、付き添いの方の来場を希望される場合は出願時に申し出てください。

【試験にあたっての注意事項】

- 2月18日は10時15分までに指定された教室に入室し受験票を机右上に置いてください。試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- 午後の面接試験は受験番号順に実施します。面接時間は試験当日にお知らせします。
- 合格発表は神奈川県立保健福祉大学実践教育センターホームページに合格者の受験番号を掲載しますので、受験票は試験後も大切に保管してください。

【持ち物】 受験票・筆記用具・昼食

※センター周辺には、昼食を購入できる場所が少ないので、昼食をお持ちください。

..... (切り取らないでください)

(様式3)

令和8年度 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター
感染管理認定看護師教育課程 写真票

受験番号	
------	--

※ 受験番号欄は記入しないでください。

ふりがな	
氏名	

写真貼付欄
・上半身脱帽正面向き 縦4cm×横3cm (背景なし)
・最近3か月以内に撮影
・写真の裏に氏名を記入してのり付け
年 月撮影

(様式4)

受験番号 _____

勤務証明書

氏名 _____

生年月日 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

在職期間 (准看護師の経験年数は含みません)

常勤 勤務期間	勤務期間		休職期間	通算常勤勤務期間
	(西暦) 年 月から	(西暦) 年 月迄	年 月	年 月 (①)
非常勤 勤務期間	勤務期間		休職期間	通算非常勤勤務期間
	(西暦) 年 月から	(西暦) 年 月迄	年 月	年 月
	*非常勤として、週 () 時間程度の勤務		常勤換算後の 勤務期間 (注2)	年 月 (②)
合計通算年数 (注1)				年 月 (①+②)

(注1) 本書1枚で「実務経験5年以上」が証明できない場合は、本書を複写し、複数枚提出してください。

(注2) 勤務形態が非常勤の場合、「実質勤務時間150時間」を「1か月相当」として、勤務月数を算出してください。

上記相違ないことを証明します。

(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

施設名: _____

所在地: _____

施設長名: _____ 公印

受験番号 _____ 氏名 _____

実務研修報告書

1 全実務研修期間および実務研修施設名（職歴）

期 間	所属施設名	職 位
(西暦) 年 月～ 年 月		
常勤		
非常勤 (週 時間程度)		
(西暦) 年 月～ 年 月		
常勤		
非常勤 (週 時間程度)		
(西暦) 年 月～ 年 月		
常勤		
非常勤 (週 時間程度)		
(西暦) 年 月～ 年 月		
常勤		
非常勤 (週 時間程度)		
(西暦) 年 月～ 年 月		
常勤		
非常勤 (週 時間程度)		
合計 年 か月	※ 2026年3月末現在（予定）まで記入してください。	

※勤務形態は、「常勤」「非常勤」のどちらかに○をつけ、その年月数を記入してください。

2 認定看護分野歴

期 間	所属施設名	所属部署名	感染に関連した役割
(西暦) 年 月～ 年 月			
常勤			
非常勤 (週 時間程度)			
(西暦) 年 月～ 年 月			
常勤			
非常勤 (週 時間程度)			
(西暦) 年 月～ 年 月			
常勤			
非常勤 (週 時間程度)			
(西暦) 年 月～ 年 月			
常勤			
非常勤 (週 時間程度)			
合計 年 か月	※ 2026年3月末現在（予定）まで記入してください。		

※勤務形態は、「常勤」「非常勤」のどちらかに○をつけ、その年月数を記入してください。

2ページ目も記入してください。

4 実務研修の実績概要

感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例記載してください。

取り組んだ期間	年	月	日～	年	月	日
取り組んだ場所						
改善事例の種類 (該当する番号に○、その他は具体的に記載)						
1. 血流感染予防・管理						
2. 尿路感染予防・管理						
3. 肺炎予防・管理						
4. 手術部位感染予防・管理						
5. 手指衛生						
6. 洗浄・消毒・滅菌						
7. 環境整備						
8. 職業感染予防						
9. その他 ()						
改善前の状況						
問題点						
改善の根拠						
改善のための計画						
結果						

*****入学の手引き*****

1 入学手続き

- 合格者は、次の期間内に入学手続きを完了しなければ入学できません。
 [手続期間] 令和8年3月2日(月)～3月16日(月) (締切日**必着**)
 入学手続きに関する詳細及び必要書類等は合格通知に同封します。
- 入学手続き後、1ヶ月ほどで入学許可書、今後のスケジュール等の案内をお送りします。

2 入学料

- 入学手続きの際には、下記の金額の入学料(税込)を納付する必要があります。

神奈川県内在住者(注)	70,100円
神奈川県外在住者	140,200円

(注)「神奈川県内在住者」とは、入学者本人が「入学選考の合格発表の日の1年前の日から引き続き神奈川県内に住所を有する者」をいいます。

- 納付された入学料は返還しません。(誤って二重に納付した場合等を除く)

3 入学式(予定)

- 令和8年4月上旬に実施します(全課程合同)。
- 入学式の日程は、合格通知と共にお知らせします。

4 授業料

- 授業料は入学後、履修登録が終了した後、一括して納付していただきます。
- 授業料は、年間の履修時間数100時間ごとに区分して定められています。感染管理認定看護師教育課程の履修時間数は637時間(必修のみ)～655時間のため授業料は下表のとおりとなります。
- なお、令和元年度から神奈川県内在住者と神奈川県外在住者に区分して授業料を設定しています。

[授業料算出区分(抜粋)]

履修時間数	金 額 (税込)	
	神奈川県内在住者	神奈川県外在住者
601時間 ～ 700時間	142,500円	285,000円

(注)「神奈川県内在住者」とは、入学者本人が「入学選考の合格発表の日の1年前の日から引き続き神奈川県内に住所を有する者」をいいます。

- 納付された授業料は返還しません。
- 入学料、授業料のほかに、次の費用が必要となります。
 教科書・テキスト代 約50,000円
 保険料 5,470円(令和7年度の金額。
 金額は今後変更となる場合があります。)
 実習参加のための免疫抗体検査費用 実費
- このほか、交通費、参考書代、教材費等が必要となる場合があります。
- 公益社団法人日本看護協会には「認定看護師教育課程奨学金制度」があります。詳しくは日本看護協会ホームページでご確認ください。

5 開講時間

午前	1時限	9:00～10:30	午後	3時限	13:15～14:45
	2時限	10:45～12:15		4時限	15:00～16:30

6 その他

- 学生寮はありません。
- 実習に必要なユニフォームを用意していただきます。
- 乗用車、オートバイでの通学は禁止です。なお、実践教育センターは学校教育法に基づく教育機関ではないため、通学定期や実習定期の学生割引は適用外です。

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 個人情報の取扱方針

神奈川県立保健福祉大学実践教育センターでは、神奈川県立保健福祉大学個人情報保護規程に基づき、個人情報の収集、利用及び提供の制限並びに、管理及び廃棄について、次のように取り扱います。

○個人情報とは

「個人情報」とは、個人に関する情報であって、住所、生年月日その他、特定の個人を識別することができるものをいいます。個人の身体、財産、社会的地位、身分等の属性に関する情報であっても、氏名等と一体となって特定の個人を識別できるものは、「個人情報」にあたります。

また、他の情報と照合することで識別することができる情報も「個人情報」にあたります。

○収集の制限

個人情報を収集するにあたっては、目的を明確にしたうえで、必要な範囲内で行うこととします。

○利用及び提供の制限

個人情報は、取扱い目的の範囲内で利用又は提供します。法令等の規定に基づく場合や本人の同意がある場合などを除き、取扱い目的以外に利用したり第三者に提供することはありません。

○個人情報の管理及び廃棄

収集した個人情報については、厳重に管理し、漏えい、改ざん等の防止に努めます。

管理する個人情報については、学外へ持ち出しは行いません。

保存の必要のなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去します。

○取扱方針の改善

この個人情報の取扱方針に関して、適宜内容を見直し改善していきます。

【入学者選考業務等に係る個人情報の取扱いについて】

実践教育センターでは、入学者選考業務に際して出願者から収集した個人情報について、神奈川県立保健福祉大学個人情報保護規程に基づき、次のとおり取り扱います。

- ①入学者の選考、合否発表及び入学手続等の入学者選考業務を行うために使用します。
- ②合格者入学後の教務関係（学籍管理等）、学生支援関係（授業料免除等）、授業料徴収関係業務のために使用します。
- ③入学試験結果の集計、分析及び入学試験改善等のために使用します。
- ④選考に合格したが入学手続を行わなかった場合又は選考に不合格となった場合は、選考を実施した翌年度の3月31日までにすべて廃棄します。

ACCESS INFORMATION

公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-5-1
電話 045-366-5800 (代) FAX 045-366-5803

交通機関

横浜駅から

相鉄線「二俣川・海老名・湘南台方面」行き、「二俣川」駅下車

新横浜駅から

相鉄新横浜線「二俣川・海老名・湘南台方面」行き、「二俣川」駅下車

海老名駅・大和駅から

相鉄線「二俣川・横浜方面」行き、「二俣川」駅下車

湘南台駅から

相鉄線「二俣川・横浜方面」行き、「二俣川」駅下車

※相鉄線は、すべての電車が二俣川駅に停まります。

徒歩・相鉄バス

二俣川駅から

相鉄線「二俣川」駅北口 徒歩 約 18 分

または、「二俣川」駅北口バスターミナル1番乗り場から

相鉄バス 旭 23 系統「運転免許センター循環」で「中尾町」下車 徒歩 2分

